

評価者	まちづくり景観部長	大場 将光
-----	-----------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進
目標とすべきま ちの姿	交通不便地域の解消やバスや駅のバリアフリー化が進められ、市民が快適に公共交通機関を利用するようになっています。 公共交通機関の利用が促進されることにより、生活道路の渋滞が緩和されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	22.7%	平成27年度	21.9%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

お金の使い方		お金の使い方		<p>&lt;妥当性の分析&gt;</p> <p>お金の使い方、仕事の効果ともに「ちょうどよい」と答えた割合が平成26年度は37.0%、平成27年度においても、「ちょうどよい」の割合が38.1%と市民意識では、最も多い割合である。次に多いのは、お金の使い方が「足りない」、仕事の効果が「不十分」と考えている割合であることから、もう少しお金を使い、今以上の効果を出してほしいと考えている方もいると考えられる。</p> <p>このことから、本事業の効果を上げるためには、更なる工夫が必要である。</p>	
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい		足りない
	ちょうどよい	1.0%	0.7%		0.2%
	効果不十分	0.9%	37.0%		0.9%
	効果不十分	2.2%	4.8%		23.0%
平成26年度		平成27年度			
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)					

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	31.1%	37.2%	3.3%	28.4%	100.0%
平成27年度	35.2%	35.8%	1.4%	27.6%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

富士見町駅上りホームに接続するエレベーターを設置するため、交通事業者等と協議を行う。
--

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
事業なし				3,786	3,844	0.5	0.5		

(3) 主な実施内容

<p>【主な実施内容】</p> <p>富士見町駅上りホームに接続するエレベーターを設置するため、交通事業者や県と協議を行った。</p> <p>【実施できなかった事業とその理由等】</p>
---

#### (4) 平成27年度 of 取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

**<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>**  
 富士見町駅上りホームに設置するエレベーターの工事が平成28年度から行われる見込みが立った。  
 同駅下りホーム及び湘南深沢駅のエレベーター設置に向けて引き続き交通事業者と協議を行っていく必要がある。

#### 3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、富士見町駅下りホーム及び湘南深沢駅のエレベーター設置に向けた協議を引き続き交通事業者と行い、実現に努力していく。

#### 4 平成28年度の目標

エレベーターが設置されていない利用客数3,000人以上の駅(富士見町駅下りホーム及び湘南深沢駅)のバリアフリー化100%を目指し、引き続き交通事業者と協議を行う。

#### 5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)

整理番号	事業名		単位		指標の傾向		備考	
指標の内容	当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		目標値						
		実績値						
		達成率						

#### 参考 前年度外部評価結果への対応

<p><b>鎌倉市民評価委員会からの指摘</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「27年度目標利用客数3000人以上駅のバリアフリー化100%」とあるが中小駅についても事業者への働き掛けを強化願う。</li> <li>朝比奈方面におけるパークアンドライド駐車場用地について、横浜市域内の民有地を現地調査しNEXCO東日本管理用通路の使用の可能性を検討とあるが、その結果が不明である。</li> </ul>	⇒	<p><b>指摘への対応、コメント等</b></p> <p>利用客数3,000人以上駅のバリアフリー化100%を達成できていないため、まずは100%達成に向けて交通事業者に働きかけを行っていく。</p> <p>NEXCO東日本管理用通路の使用の可能性を調査したが、適切な広さがないことが明らかとなった。今後は朝比奈方面周辺の民有地について、利用できそうな土地があるかどうか検討する。</p>
--	---	---

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 《評価できるところ》

・今年度目標である富士見町駅エレベーター設置の工事見込みが立った。交通事業者との協議の成果が上がったことになる。

		評価の内訳								委員会の評価	
取組	↗	1	↘	3	→	4				→	
効果	○	1	△	3	—	4	⇒			—	

### 《課題》

- ・目標とすべきまちの姿に向けた取組がみられない。
- ・公共交通機関の利用の促進とあるが、江ノ電利用者は土日は特に利用したくても利用できない状態である。事業者との協議が求められる。
- ・オムニバスタウン計画やミニバスも通れない地域への対策が分からない。
- ・高齢者急増時代を迎えきめ細やかな輸送力向上対策が求められる。
- ・新規循環バスの社会実験を踏まえた本格運行に向けて、路線バス再編や踏切道改良、交通誘導員の複数配置等が問題である。

### 《提言》

- ・交通不便地域の実態の把握と指標化を進めるべきである。
- ・モノレール駅のエレベーター設置は高齢者にとってありがたく、引き続き進める必要がある。湘南モノレール株式会社にもっと協力を仰ぎ、バリアフリー化を促進していただきたい。今後の方針として「2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、富士見町駅下りホーム及び湘南深沢駅のエレベーター設置に向けて引き続き交通事業者と協議を行い、実現に努力していく。」とあるが、オリンピック観覧者が「富士見町駅」「湘南深沢駅」で乗降するとは考えられないため、オリンピック対策とするのであればハブやターミナル駅での取組を推進すべきである。
- ・「目標とすべきまちの姿」として「公共交通機関の利用が促進されることにより、生活道路の渋滞が緩和されています。」と謳っているが、現状は道路が渋滞しているために、バスが動かない、観光客で一杯になり、江ノ電のホームから人があふれ、利用制限がかけられている状態であることから、水上バス等による輸送力の増加が図れないかを検討すべきである。